

社会教育研究部門

「青年の自立と教育文化」研究部会（第51回）

日時：2017年5月19日（金）14:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・上野浩道・内藤俊史・青柳路子・齋藤智哉 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香

内容：上野浩道氏の執筆部分「青年の精神的自立にはたらく宗教と教育文化—西田幾多郎と西田天香の事例を通して—」について、資料①～⑧を用いて発表と説明

(1) 第2章「西田天香の精神的自立にはたらく宗教と教育文化」の構成（以下）について説明

1. 実学的体験と教育文化による人間形成
 - ・高等小学校卒業と家業の丁稚修行という体験
 - ・教育文化へのあこがれと自学体験
 - ・人間形成と思想形成の基盤
2. 経済的挫折から精神的儀礼の獲得へ
 - ・北海道開墾事業：「金儲け仕事」「生存競争の生活」から「なるだけ働いて、なるだけ儲けぬよう」という「ほんとうの仕事」への転換
 - ・儀礼の獲得と精神の決定性
 - ・儀礼：断食、下坐業、托鉢、静座、瞑想
 - ・「無所有、無一物の生活」：捨欲
 - ・「控えめにする習慣」「自然のままの生活」
3. 利他行という宗教共同体での自立と共存
 - ・下坐業という身体レベルからの回心
 - ・「無一物、無尽蔵」という生活＝「すべてを捨てる」「新生涯」
 - ・利他＝光任せの托鉢
 - ・一燈園の一人の青年の懺悔と贖罪による自律の事例
 - ・宗教と教育文化にもとづく自立と共存という思想

(2) 意見交換

- ・「懺悔」という考え方は仏教のどこから来るのか？（田嶋）
- ・自己との対面性はないのでは（上野）
- ・日本の教育では宗教教育はどうなっているか？（上野）井

(3) 今後の研究会日時と発表者の決定

- ・6/16（齋藤） 7/21（田嶋・「はじめに」共同執筆部分改稿）
- 8月未定 9/22（未定） 10/20（青柳） 11/17（未定） 12/15（未定）

・次回研究会は、2017年6月17日14:00～。齋藤研究員の原稿検討